

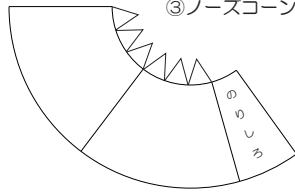
# M-3Hペーパークラフト

## scale 1/100

(C) FUKUDA Planning 2004 Ver.1.1.1

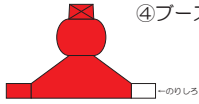
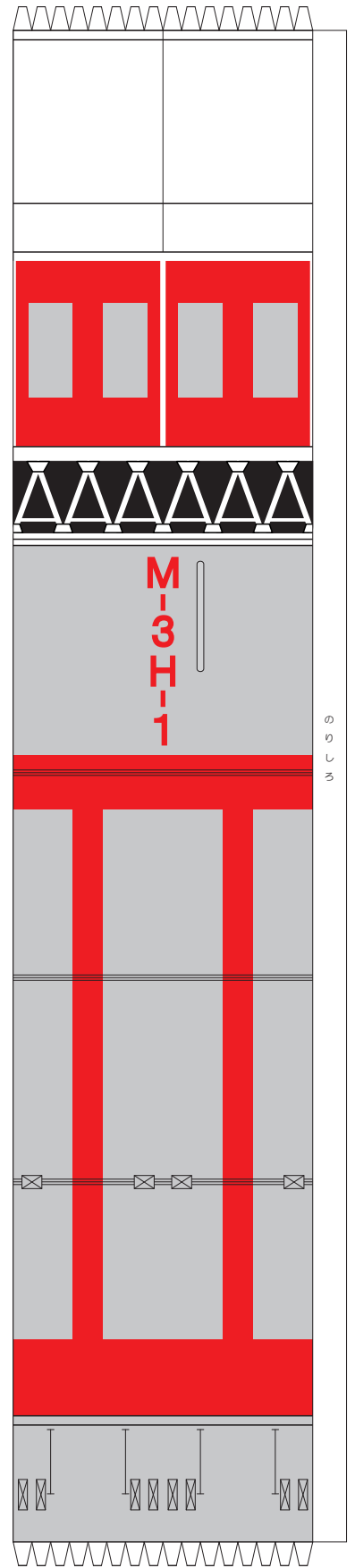


②ノーズコーン頂部

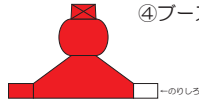


③ノーズコーン

①M-3Hロケット本体

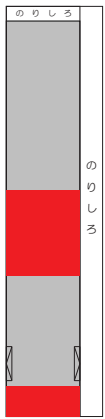


④ブースター頂部

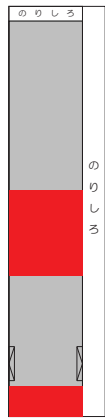


④ブースター頂部

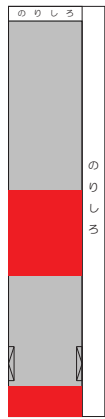
⑤ブースター



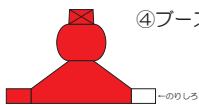
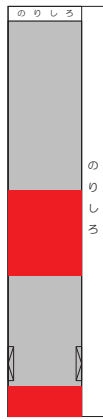
⑤ブースター



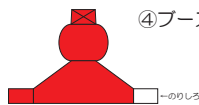
⑤ブースター



⑤ブースター

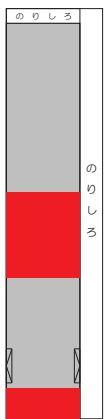


④ブースター頂部

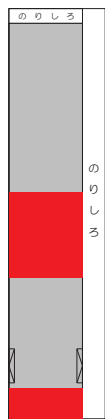


④ブースター頂部

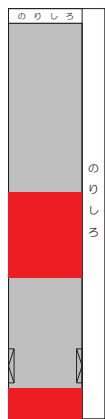
⑤ブースター



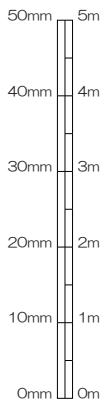
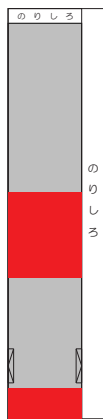
⑤ブースター



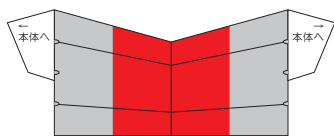
⑤ブースター



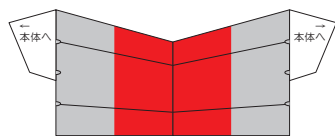
⑤ブースター



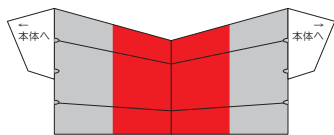
⑥尾翼



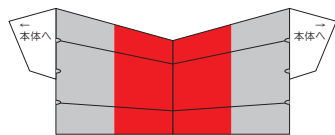
⑥尾翼



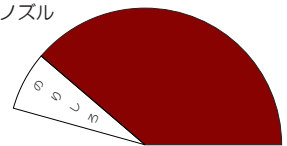
⑥尾翼



⑥尾翼



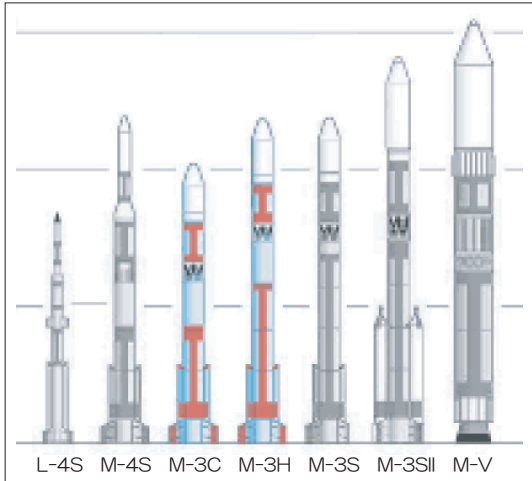
⑦ノズル



# M-3C・M-3H ペーパークラフト

ミューロケットは、現在のJAXA宇宙科学研究本部の前身に当たる、東大宇宙航空研究所（のち文部省宇宙科学研究所）の開発したロケットです。

このペーパークラフトで取り上げているM-3Cはミューシリーズの第2世代で、初代のM-4Sより2・3段目を強化して3段式とし、2段目に飛行制御装置を装備したものです。その改良型であるM-3Hは、1段目を延長して衛星運搬能力を増大させました。



宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の図を一部改変

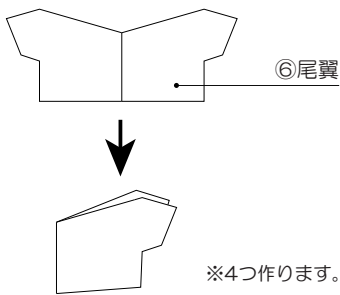
|        | M-3C                              | M-3H                    |
|--------|-----------------------------------|-------------------------|
| 全長     | 20.2m                             | 23.8m                   |
| 直径     | 1.41m                             | 1.41m                   |
| 全重量    | 41.6t                             | 47.8t                   |
| 打上げ能力  | 195kg                             | 300kg                   |
| 打上げた衛星 | たんせい2号<br>たいよう<br>CORSA※<br>はくちょう | たんせい3号<br>きょっこう<br>じきけん |
| 運用年    | 1974~79                           | 1977~78                 |

※M-3C-3のCORSAは軌道投入失敗  
JAXAホームページおよび「スペース・ガイド2003」（丸善）掲載のデータより作成

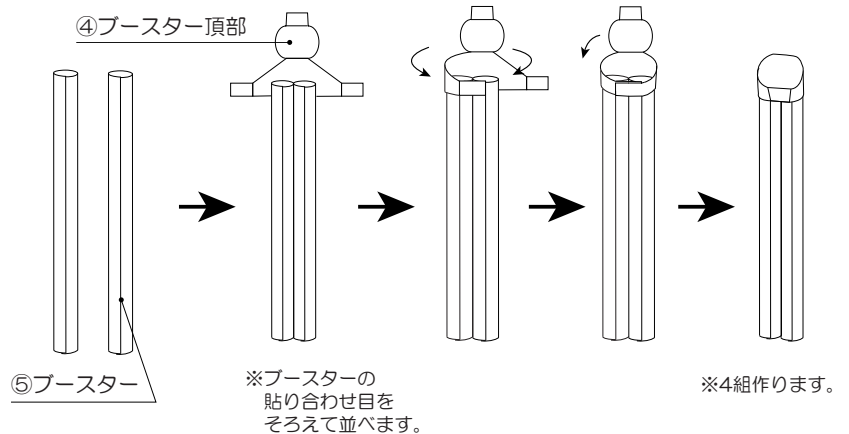
## 組立説明図

M-3C・M-3H共通です。

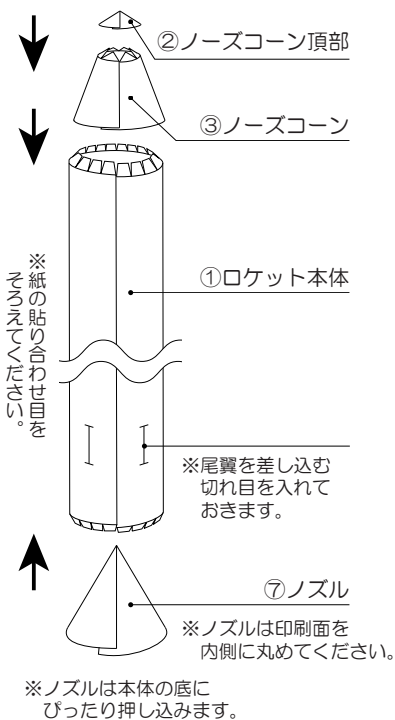
### 1. 尾翼の組み立て



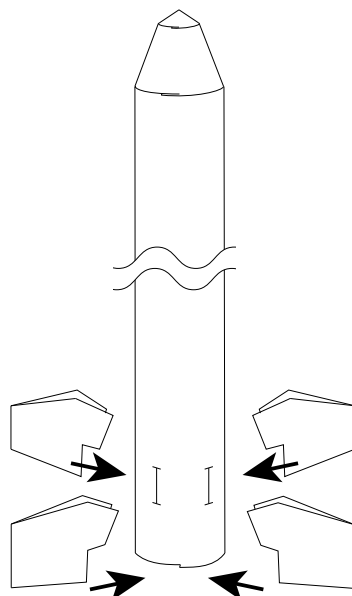
### 2. ブースターの組み立て



### 3. ロケット本体の組み立て



### 4. 尾翼の取り付け



### 5. ブースターの取り付け

